

武教全書口訣

地形

七

武教全書圖	
部門	一乙七
番號	六
冊數	二八





武教全書口訣

地歌

地公彼我相對之後其

方ハルハ方去兼方此

分ハ又歌也天然之是

方ハ方又歌也天然之是

方ハ方又歌也天然之是

方ハ方又歌也天然之是

方ハ方又歌也天然之是











散地 兵法云諸侯自戰其地為散地云心

一 散地 兵法云諸侯自戰其地為散地云心

ハ地戰ニテ家近知ノ戦久士卒家ヲ思フ

故ニ必死ノ心少ク其志衆議一味致シ難

シ如此ヲ散地ト云ナリ

云心トハ上ノ兵法ノ詞ヲ兼テ兵法ニ

カク云テ有ト云ナリ也次ノ文何レモ此

ハ心ナリ地戰トハ自分ノ持國ニテ戰フ

所ノ案内ヲモヨク知り吾家へ

人通路モ自由ナルユヘ心ニヒカル、

知アリテ戰ノ方ヘ心專一二赴カス故

ニ心ノ口カルト云意也

兵法云士卒恃之懷戀妻子争則散走是為

散地

士卒自國ヲタノミニ石ニ云ル如ク

我近ナルユヘ妻子ヲ思ヒシトフ心ア

リテ戰ヲナス方ニ心移リカタクハニ

リ少キナリ故ニ争ヒ戰ヲナセハ士卒





千里ハシリテ用ニ夕、ス敗ヲ取也如  
此場ヲ散地ト云也

一曰地宜閑鍵士卒易散居此地者不可數

戦

閑鍵ハセキ外也他国ナレハ境目城取

共午十トノ閑アレ氏自国ナレハ其支リ

十クノ性来自由十ル故ニ士卒千里ニ

ニニナリ安キナリ此地ニ居テハ戦ヲ

致スニシキト也石ノ通自国ハ諸事ヲ

ホツカナキナケレハ希テ士卒心ニ

不ニナリナクテ合戦ヲシテモハニリ十

共ク勝利ヲ得難キ也孫子ニモ散地ニハ

乃戦フナケレトアリ

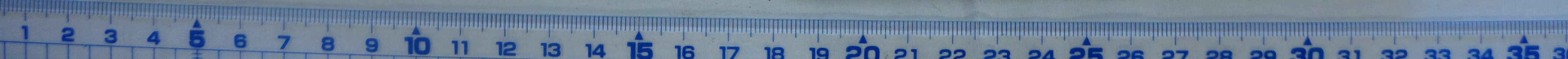
又曰地遠四平更無要害士卒不堅意而易

離散

地形廣クテ四方ニ險阻ナク平陸ニシ

要害ナキ場処カヤウノ処ハ士卒ノ心

一ニ致セス必死ノ心ナクカタニラスノ





離レクニ十リ千リ口カレ安キ也

一 輕地 兵法曰入人之地而不深者為輕地

云心ハ敵地ニ入リ深カラス味方ノ国地

近クノ士卒歸リ安ク人ノ心不重ヲ輕地

ト云也

士卒ノ心ハニリカロキ也

兵法曰入敵地未深往返輕易不可止息將

不得數動勞人云々

敵地へ攻入リイニ夕深カラス淺クノ

一 引リ安キハ士卒ノ心堅固ナラスハ

下系リ薄キニハ不可止息一知ニ踏止テ

ノ居ルヘカラス速ニストム亦以テ利ト

スル也故ニ數動キ進ムヘシ一所ニ居

テ士卒ヲ勞シワカラスヘカラスト

スリ孫子輕地則無止トアリ

一 争地 兵法云我得則利彼得亦利者為争

地云心ハ其地勝地ニメ防戦ニ利アル

ルヲ云敵味方相争地也





一 敵ニテモ味方ニテモ取得方勝利アリ  
一 知ヲ云是互ニ取得ント孫子云アリ以テ地  
一 十リ争地則無攻ト孫子云アリ以テ  
一 交地兵法云我可以往彼可以来者爲交  
一 地云心ハ地取平陸ニメ往来自由ニ險  
一 阻少ナキヲ云  
一 夕トハハ道幾筋モアリテ彼我凡往  
一 来メユキ邊ヲ場知五方款味方命五シ  
一 此化地也孫子云平交地則無絶トアリ

一 衢地兵法云諸侯之地三属先至而得天  
一 下之衆者爲衢地云心ハ助ケノ国多ク  
一 ヲ先其地ニ至テハ天下ノ衆ヲ得地ナリ  
一 其地ノ三方款ニテモ味方ニテモ十キ  
一 隣国ノ大名ノ領地へ統テ居ル地ナリ  
一 款ニテモ味方ニテモ其処へ先ニ出タ  
一 ル方へ隣国ノ大名ノ領分付從フナリ  
一 夫ヨリ繁ク強ク成テ天下ノ人民モ我  
一 手ニ入リ帰服スルヤリニ十ナリ衢



地ハ千ニ夕トヨム四寸十トノ如ク諸  
方へ通路ノヨキ地ナリ孫子ニ衢地則  
合交トアリ

一 重地 兵法曰入人之地深脊城邑多者急

重地云心ハ敵国深ク備入敵地ヲ多ク

後ニ致シ地取險阻多キヲ云ナリ

士卒ノ心ノハマナリ重ク一切ノ力ヲ勢ニ

不重ク大地ナリ心ニテ重地ト云也本文

通リニテ本国へ力ハルテ容易ニ十

ラ又ト士卒思フニ志堅固ニ心ハ  
ナリ重クナリ也孫子ニ重地則掠トアリ

一 圯地 兵法曰行山林險阻沮沢凡難行之

道高圯地云心ハ山林深ク沮沢近ク前

後ヲ見切難キヲ云

大水ニ押破レタル地ヲ圯トイフナレ

足場アリシクアルキニクキ知控シテ

人数ヲ押カタキ地ヲ云ナリ孫子ニ圯



地則行トアリ

一 圍地 兵法曰所由入者隘所從歸者迂彼

寡可以擊吾之衆者急圍地云心ハ働入

如切所多ク人数ヲ引ニ道遠ク進退宜カ

ラス款ノ圍ヲ受ヘキ地ヲ云ナリ

一 夕トヘハ山ニテモ川ニテモ四方ヲ圍

ミ繞リテアル地ナリ其地ニ入ニハ入

口セニ夕夫ヨリ本国へ歸ルニハ山川

ヲメクリニ力リテ道ハ力ナリ誠ニ

一 進出入難キハ地ナリ孫子ニ圍地則謀

ストアリ

一 死地 兵法云疾戰則存不疾戰亡者急死

地云心ハ兵ヲ置テ必敗亡スハキハ地

ヲ死地ト云也

一 夕トヘハ高山大川ヲ前後干ウケテ先

ヘモ進ニレスアトヘモ引ナラヌ

地コレ誠ニ必死スヘキハ地也如此地

ニテハ身命ヲ捨速ニ戦フニ公却テ士





卒ノ心一致スルニハ万死ヲ出テ一生  
ヲモ得ル也猶豫シテ年延テハ士卒  
ノ氣モクツシ滅亡スル丁ウタカヒ十  
キ也孫子ニ死地則戦トアリ  
右以上九地ハ地取ヲ大ニ見タル上ニ  
テ云ルモノニハ地ノ勢ヒ也次ノ六取  
地ヲ小ク見タルモノ也故ニ地ノ取  
一 通取兵法曰我可以往彼可以来曰通取

云心ハ往来ニサハル所ナクヨク通用  
スルノ地取也  
タトヘハ平陸歩以ハキテ廣クマスラ  
カニメ諸方へ通路ヨク四通八達ノ地  
ナリ此地ニテ戦ヲスルニハ高陽ノ地  
ヲ早ク味方ニ取リテ款ニトラレヌマ  
ウニスル也味方款氏ニ往来自由ニ十  
ル也高二陣ヲトリ備ヲ立款ニ糧道ヲ  
絶レヌヤウニメ戦ハハ利アルナリ



一 掛取 兵法曰可以往難以返曰掛云心  
ハ働入ニ障リ十キカ如シトイハ共負軍  
ニ引取カタキ又引取ニ四方ヨリ款ニ  
ツカルヘキ知ナリ  
此方ヨリ行リハ自由ナレ厄カヘル  
又不自由ナル地也物ニ引カ、リタル  
コ、口ニ是ヲ掛取ト云タトハ陰  
又阻ノ地ヲ款味方ノ地入組テ了ル地  
又ハ前低夕後口高キ地ノ類也亦テ

此地ハ款ニ油断アリテタシカニ其不  
意ヲ折テ勝ヘキ圖アラハ人数ヲ押出  
テ款ヲウツヘシ款ニ備アリテ油断ナ  
ク折テモ勝レニシキハ人数ヲ此場ヘ  
押出スニシキ也引上ニクキ地工ヘ利  
ナキナリ  
一 支取 兵法曰我出而不利彼出而不利曰  
支云心ハ要害不冝トイヘ厄守成ヲ十  
スニ利アリテ防戦ナリ難キ地形ヲ云也



敵味方凡二人敵ヲコシテハ押出シテハ  
利ナキユヘ双方要害ノ地ヲ守リニラ  
合支ヘツメテ居ル意也仍テ互敵ト  
云ナテ此地ニテハ利メヲヒク凡要害  
ノ地ヲハナレテ此場へ出ヘカラス敵  
ヲハ手段ヲ以テ引出シテ討ニ利アリ  
一 隘 敵兵法曰左右高山中有平谷也其云  
心ハ其地取道アリトイヘ凡也谷ノ林  
クメ利アラサルノ地ナリ

隘ハセハキ口也両方ヨリ山ノ羊サキ  
出テ口狭ク中廣キ地ヲ云其口セハ  
ハシキユヘ敵此中ニ居此谷ヲ塞ク凡  
ハ戦ヒテモ敵ハ佚シ我ハ方メ利アラ  
サルユヘニ敵居之ハ取カハルヘカラ  
ス然レハ敵ヨリ先ニ我居之隘ヲフナ  
キ守リテ敵ノ入リノナラヌヤウニメ  
敵ヲ待ニ利アル也專ラ守成ニヨキ地  
ナリ



一 險取 兵法曰溪澗坑坎困車阻馬不便馳  
突險阻難行地也 云心ハ地取堅固ニメ  
戰自由十ヲサルノ地ナリ

溪澗ハ夕ニ川坑坎ハ了十也車モ馬モ  
行難ク駈引不自由ニメ險阻ナリ惣メ  
行難キ節ハ難ルヲ名付テ險取ト云此  
地ニテハ我先ニ居ハ高陽ハ地ニ陣ハ  
敵ヲ待カヨキ也敵先ニ爰ニ居ルハ我  
引去テ此地ニ唇ヲ又カヨキナリ

險隘氏ニ守成ニ便アルノ地取ヲ云也

右ハ通ナシハ味方先ニ其地ヲ得テ守

成ヲナスニ便アル也

一 遠取 兵法曰彼此相去遙遠不近之地也

云心ハ敵味方相去テ遠クノ行テ戦敗ハ

ツカル、ノ地也

敵味方ノ陣間ハルカニ遠キヲ云三里

以上ヲ云ヘシ尤人数ノ多少敵味方同

ク成ルハ日也来ル方ツカル、也故ニ



待テ戦ニ利アリ以俟撃芳ノ場也款ヨ  
リモ味方多弊十ラハ其方ヲ考ヘ交代  
ヲ十シ正奇救應ノ午合ヲ十ス丁自在  
十ラハ行テ戦トモ安カルヘシ  
地取六害之事  
大ニ害ノアル地至テアシキ地取也此  
地ヲハスミヤカニ去テ近ツクニシキ  
也我ハ遠ク是ヲ向ヘ款集コレ吾近ツ  
テ切テ又脊点スル如クスハキ也

絶澗 山水深大之地也

夕ヘタル谷也両方ハ山中ハ川ニテ岸  
ケハシク切立タルヤウニテ人个通ヒ  
成難キ処人ノ渡ラレス越ヒ又谷川ノ  
丁ナリ

天井 地取窪下大水可及之地也

天然自然ノ井ト云意也人馬此中ニ入  
テハ出ル丁ノ十ラ又地ナリ四方高ク  
中ヒキク深クテ方々ノ水ノ落合流入



如十リ

天羅 山間迫狭可羅絶人之地也

天然ノアミト云意也山アヒセクセ

ニリテ人トヲリヘス網ニカ、リタル

如キ地十リ

天宰 林木隠蔽葦深廣之地也

天然ノ宰獄ト云トナリ中木ウナリ

七テ暗キ処ナリ

天溜 道路泥沢人馬不通之地也

天然ノヲトシア十ト云ト也沼フケ田

古川ノアト十ト皆人馬ヲ働カセス自

然ノ落シア十也

天卻 土多溝坑坎陷木石之地也

天然ノワレメト云意也地ニミソ穴多

ク木石ノ乱レテアル処也物ノヒ、キ

ワレメニ喩タルコ、口也

一 城地同繩張之事 是ハ別卷ニ出スユヘ

二 不記之











